

地域連携委員会 活動報告

開催日: 2021年7月25日(日)
会 場: 美川地区

親子フォトウォークin美川を開催!

地域連携委員会は7月25日(日)に親子フォトウォークin美川を開催しました。7月はコロナウィルスが猛威を振るっており開催が危ぶまれましたが、感染症対策を行い何とか開催する事が出来ました。コロナ禍により多くのイベントが中止や延期になっていましたので久しぶりのイベントに子どもたちだけではなく大人の方々も楽しそうに親子で会話をしながら歴史ある美川の街並みを散策していました。時間も限られたイベントではありましたが子どもたちにとっていい思い出になったのではないかでしょうか。この活動を通じて地元の良さを再発見していただき少しでも自分達の町、白山市を好きになっていただけたらと思います。コロナ禍はまだまだ続くと思われますが、コロナだからやらないではなく、コロナだからできる事を探し新たなPTA活動に繋げていきたいと思います。



この1年を振り返る



副会長
宮井 甚一
(笠間中学校PTA)



副会長
撫子 正
(美川小学校育友会)

2021年度「PTA活動推進助成事業」報告



事業名 児童会との連携事業 (ベルマーク事業及び縦割り遠足サポート事業)

コロナ禍で多くのPTA活動が中止となる中、児童会と連携して「逃走中」を開催。久しぶりに子どもたちの生き生きとした姿を目の当たりにし、教職員や保護者、児童達が共に楽しみながら活動することができました。今後もコロナ禍が続くと思われますが、感染防止を徹底したうえで子どもたちの為にできることを考え、活動したいと思います。

美川小学校育友会 会長 小鍋恭兵

事業名 こどもたちの未来を救おう~SDGs大作戦in美川~

石川県PTA連合会表彰

優良PTA石川県教育委員会表彰

白山市立美川中学校育友会

石川県PTA連合会会長表彰

白山市立千代野小学校PTA

広報紙コンクール

優良賞 東明小学校PTA「さわやか東明っ子」
写真賞 北辰中学校PTA「北辰」

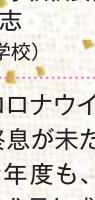
三行詩コンクール

優秀賞 一般の部 竹端 政貴(広陽小学校)
佳作 3年生 藤本 陽生(広陽小学校)
佳作 一般の部 一ノ谷 志保(広陽小学校)
山松 佳織(広陽小学校)
針原 友紀(広陽小学校)

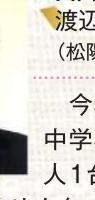
この1年を振り返る



白山市PTA連合会 会長
山本 恵史
(北星中学校PTA)



白山市中学校校長会 会長
古川 孝志
(松任中学校)



白山市小学校校長会 会長
渡辺 直人
(松陽小学校)

会長として2年目を務めさせていただきましたが、先ずは会員の皆様をはじめ、関係者の皆様かららいただきました多大なるご支援ご協力に感謝申し上げます。今年も活動を通して多くの学びを経験させていただきましたが、特に記憶に新しいのは、10月に開催したLGBTQ・発達障がいと子育てをテーマとしたパネルディスカッションでした。パネルディスカッションという形式もLGBTQというテーマも初めての経験でしたが、新しいことにチャレンジするという貴重な経験とその学びにより得られた新たな視点は、PTAに関わっているからこそ感じられる大きな喜びです。

PTAがさらに一人でも多くの方が喜びを感じられる「親と教師の学びの場」となるよう、これからも力を尽くしていきたいと思います。

運営幹事
北嶋 将光
(美川小学校育友会)

今年は家庭教育委員会でも行ったLGBTQ・発達障がいの講演を聞いたり、「多様性」「ジェンダー平等」という言葉を沢山見聞きしました。白山市でもバーチャル宣誓制度を開始しており、マイナリティが当たり前の社会になっていけば教育においても未然にいじめを防げたり、悩んでいる子どもを助ける事が出来ると思います。

知識や理解が深まる環境を皆で築いていけたら良いなと感じました。

運営幹事
久木 恵美
(光野中学校PTA)

私たちPTAもコロナ対策スタートとなりました。しかしながら、これまでに得た経験を力に出来た一年だったと思います。特に、動画配信の当たり前化は、実際のPTA行事に足を運べない方や子どもたちにも広くPTA活動を知つてもらえる機会になつたのではと思います。私事ですが、家庭教育委員会のパネルディスカッションに保護者代表として参加させていただくことができ、動画配信を視聴していただいた保護者の方と繋がることが出来たりと、手ごたえを感じる事が出来ました。このようなご時世だからこそ、新しい手法を生み出し、より多くの保護者や先生方、そして子どもたちとの繋がりを絶やすことなく継続できた一年だったのではないかと思います。

子どもたちは宝です。「いろいろな人から愛されているんだ。」という安心感を子どもたち一人一人に実感させてあげたい、そんな環境づくりに大きな役割を担っているのがPTA活動だと思います。ご家庭での子育てやお仕事でご多忙の中、また、今だ気を抜くことができない新型コロナウィルス感染症への対応に苦慮しながら、各校PTAや市・県PTAで活動に取り組まれた皆様に感謝申し上げます。私も学校や地域でできることを考え行動していきたいと思っています。1年間ありがとうございました。

新型コロナウィルス感染症の終息が未だ見えない中、今年度も、学校では、子どもたちの健やかな成長と感染予防との両立を図りながら、感染リスクを可能な限り低減しつつ工夫を凝らし教育活動を行ってきました。これもひとえに保護者の皆様のご理解ご協力のおかげと心より感謝申し上げます。今後も、PTA連合会の「五つの誓い」のもと、家庭・学校・地域が相互に信頼関係を築き、連携・協力しながら、この難局を乗り越え、子どもたちが明るく、元気に活動できる教育環境の充実を目指していきたいと考えます。

運営幹事
石川県PTA連合会副会長
加藤 彰教
(白峰小学校育友会)

「今、何をしなくてはいけないのか」という思いの中で、委員の皆様はいろいろなアイデアをお出しくださいました。そして、思いを動きにすることで、各委員会事業の実施に向けたご尽力をいただきました。また、子どもたち一人ひとりの笑顔を願い、多くの方が事業にご参加くださいました。皆様のお姿は、子育てる私自身にとって、心強く頼もしいものでした。

改めて、心から感謝申し上げます。

教頭会幹事
小田 実由季
(白嶺小学校)

今年度、教頭会から幹事として白山市PTA連合会に参加し、PTAの役割や意義を改めて考える機会をいただきました。役員会や常任委員会で、子どもたちのため何ができるか、何をすべきなのかと、熱心に話し合われる保護者の皆様の姿勢に、コロナをはじめとする諸問題への対応に悩みがちだった私自身が励まされ、前向きになりました。

子どもたちの健やかな成長のためには、家庭・学校・地域が連携して子どもたちを見守り育てていくという環境も欠かすことはできず、今こそ私たちPTAがその橋渡し役として力を発揮するときではないかと感じております。

学校関係者の皆様のご尽力によって学校教育の場が確保されていることは感謝に堪えませんが、子どもの健やかな成長のためには、家庭・学校・地域が連携して子どもたちを見守り育てていくという環境も欠かすことはできず、今こそ私たちPTAがその橋渡し役として力を発揮するときではないかと感じております。

白山市PTA連合会では、この困難な時代だからこそ、目の前の課題をひとつずつ解決するとともに、各地域でのPTA活動が持続可能なものとなるよう、できることから確実に進めてまいりますので、会員の皆様におかれましては引き続きご理解ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

白山市PTA連合会広報

かがやき

白山市PTA連合会(市P連)は、白山市内27小中学校のPTAから組織されている社会教育団体です。

第34号
2022.3発行

ホームページへのご案内

白山市PTA連合会 検索



会員の皆様には、日頃からPTA活動に積極的に取り組んでいただき、ありますことに敬意を表しますとともに、白山市PTA連合会の活動にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

一昨年より世界的に猛威を振るっている新型コロナウィルス感染症は、子どもたちの学校生活のあり方を大きく変え、運動会や修学旅行などといった学校行事も例年どおりといかない歯がゆい状況が続いているます。また、感染防止対策の影響から、保護者や地域の方々が学校に足を運ぶ機会も減ってしまいました。

学校関係者の皆様のご尽力によって学校教育の場が確保されていることは感謝に堪えませんが、子どもの健やかな成長のためには、家庭・学校・地域が連携して子どもたちを見守り育てていくという環境も欠かすことはできず、今こそ私たちPTAがその橋渡し役として力を発揮するときではないかと感じております。

白山市PTA連合会では、この困難な時代だからこそ、目の前の課題をひとつずつ解決するとともに、各地域でのPTA活動が持続可能なものとなるよう、できることから確実に進めてまいりますので、会員の皆様におかれましては引き続きご理解ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

会長 山本恵史

第9回 白山市PTA大会



開会宣言

開催日: 2021年12月11日(土)
会 場: 白山市松任文化会館ピーノ

子どもの権利はなんのため?

累計発行部数が72万部を突破したという子ども向け法律書「こども六法」の著者である山崎聰一郎さんから、「子どもの権利はなんのため?」と題して講演していただきました。

自身が小学生のときにいじめにあった経験が法律を学ぶきっかけとなった。

学校で教えられる憲法や子どもの権利条約は自身をいじめから救ってくれなかった。それから法律を学んで、大学生になったときによく憲法の本質を理解することができた。

基本的人権の尊さを教えるから学校では憲法から教えるが、具体的に人権保障がどう実現されるのかを教えないから、子どもには本質が理解できない。

「人権が大切だって言うけど、僕の人権が守られないんですけど。」「今、人権侵害されてるんだから、どうにかしてよ。」と。

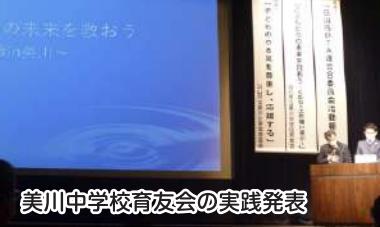
だから、「こども六法」では憲法ではなく刑法から解説することとした。

子どもの権利を守るために大人は何をしたらいいか。「教育の義務」や「教育を受ける権利」があるが、学校に行けない子どもがいたとして、大人がすべきことは子どもを無理やり学校へ引っ張っていくことではなく、子どもが安心して学べる環境を整えること。安心安全に学べる環境があるからこそ成績を伸ばすことができる。

子どもはいじめにあって大人には相談しない。

大人が子どものいじめに気付くためには、ルーティンを築いておくことが大切。「いってらっしゃい」「いってきます」「今日、学校どうだった」「べつに」という毎日の声かけをルーティンとしていることで、声のトーンなどちょっとした変化でいじめに気付いたという例が多い。皆さんには家庭内でのお子さんとのコミュニケーションのルーティンを築いてほしい。

また、白山市PTA連合会の各委員会(家庭教育委員会、地域連携委員会、学校支援委員会)から今年度の活動報告が行われました。



第1回会長会議

開催日: 2021年9月4日(土)
会 場: 白山市松任文化会館ピーノ 401会議室

9月4日、白山市松任文化会館ピーノにおいて、指導者研修としての位置付けで市内27小中学校の単位PTA会長にご出席いただき、第1回会長会議を開催しました。

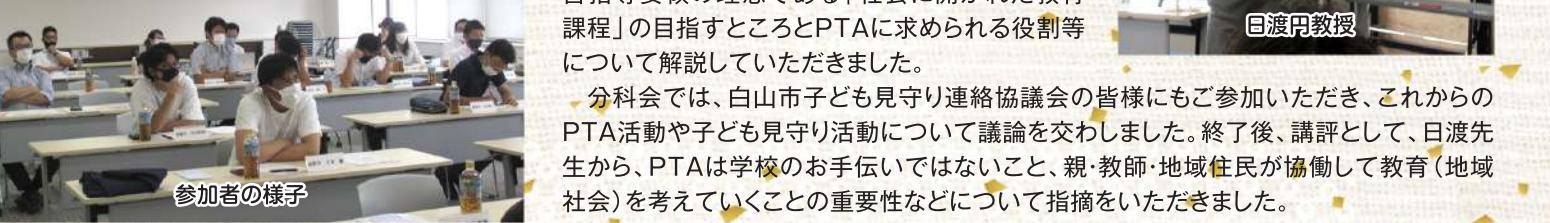
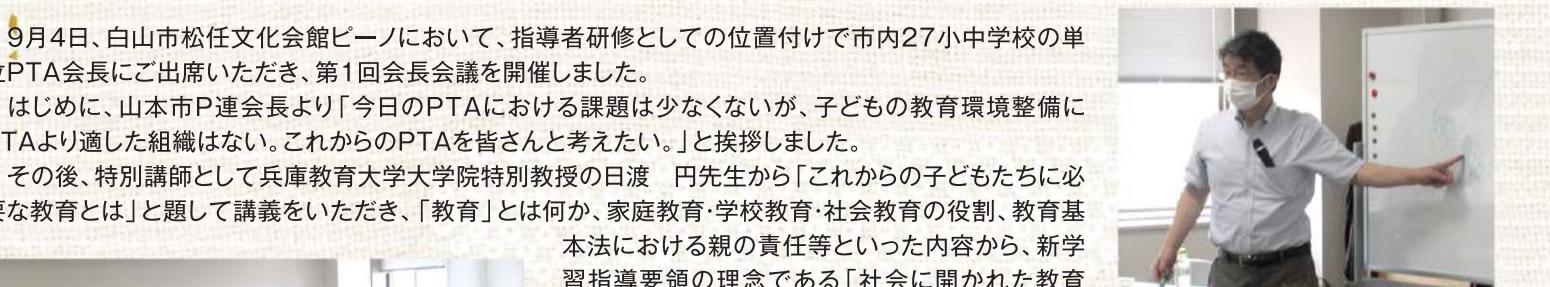
はじめに、山本市P連会長より「今日のPTAにおける課題は少なくないが、子どもの教育環境整備にPTAより適した組織はない、これからPTAを皆さんと考えたい。」と挨拶しました。

その後、特別講師として兵庫教育大学大学院特別教授の日渡 円先生から「これらの子どもたちに必要な教育とは」と題して講義をいただき、「教育」とは何か、家庭教育・学校教育・社会教育の役割、教育基本法における親の責任等といった内容から、新学習指導要領の理念である「社会に開かれた教育課程」の目指すところとPTAに求められる役割等について解説いただきました。

分科会では、白山市子ども見守り連絡協議会の皆様にもご参加いただき、これからのPTA活動や子ども見守り活動について議論を交わしました。終了後、講評として、日渡先生から、PTAは学校のお手伝いではないこと、親・教師・地域住民が協働して教育(地域社会)を考えていくことの重要性などについて指摘をいただきました。



参加者の様子



家庭教育委員会活動報告

開催日: 2021年10月2日(土)
会 場: 白山市松任文化会館ピーノ 401会議室

感染対策のため参加人数を制限し講演会とパネルディスカッションを開催!

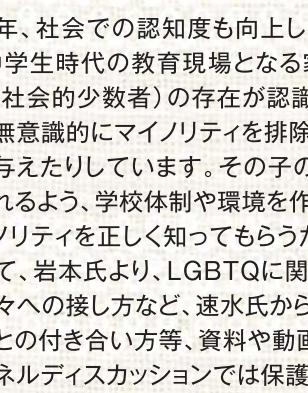
マイノリティの子どもたちと共に成長する家庭・学校をめざして ～LGBTQや発達障がいに関する理解を深めよう～



山崎 聰一郎氏



岩本 健良氏

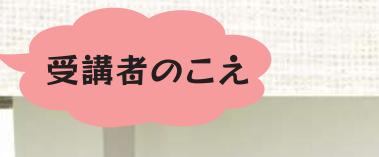


速水 健二氏

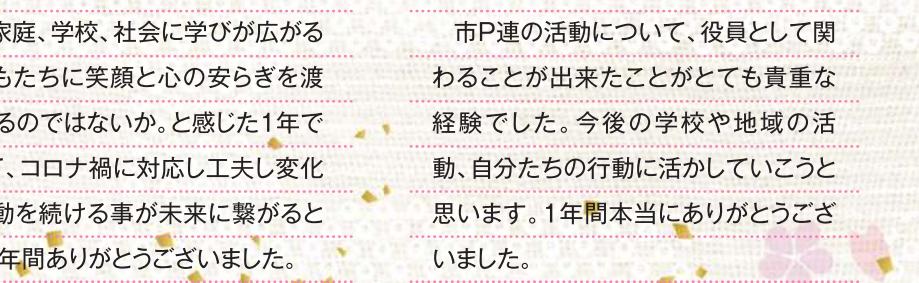
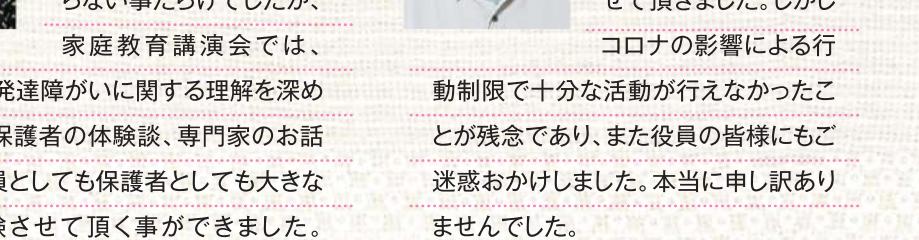
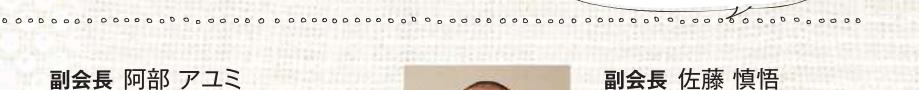
近年、社会での認知度も向上しています『LGBTQ』『発達障がい』ですが、小・中学生時代の教育現場となる家庭や学校においては、依然としてマイノリティ(社会的少数者)の存在が認識されておらず、いじめや不登校が生じたり、時に無意識的にマイノリティを排除してしまったり、当事者の成長過程に良くない影響を与えており、その子の思いや悩みを受け止め、安心して学校生活を送れるよう、学校体制や環境を作っていくことが大切です。

マイノリティを正しく知つてもらうために、10月2日に開催されました講演会において、岩本氏より、LGBTQに関する基礎知識から、当事者の悩み、そしてその方々への接し方など、速水氏からは発達障がいの分類・特徴や、発達障がいの方々との付き合い方等、資料や動画を用いわかりやすく教えていただきました。

パネルディスカッションでは保護者の悩みや意見を専門家・当事者の方々から経験を交えた貴重なご意見をいただきました。



受講者のこえ



学校支援委員会活動報告

開催日: 2021年10月31日(日)
会 場: レツツホールつるぎ

親子参加型講習会 親子で考えよう! スマホの上手な持たせ方、使い方



スマホの普及、利用増加に着目し、「親子参加型」にこだわってスマホ講習会を開催しました。

第1部では、事前に会員の皆さまにお願いしたアンケート結果を基に、石川県少子化対策監室 松本里香氏にご講演を賜りました。SNSでの個人情報流出や各種トラブルをご紹介いただき、またスマホは上手に活用することでとても便利なものだということもお話を頂きました。

第2部では、保護者と子どもに分かれてご家庭でのスマホの実情について『本音トーク』を繰り広げていただきました。

子どもたちからは早く欲しい、もっと自由に使いたいとの声が、保護者からは依存やトラブルへの心配が聞こえ、ご家庭でのルールをしっかり決めて、しっかり守って利用したいとのご意見がありました。



受講者のこえ

